

伝える！ つなげる！ ゴースマイル！

# 宮小宮の丘

教育目標

学校 HP : <http://hachioji-school.ed.jp/komye/>

〇かしこい子 〇たくましい子 〇ゆたかな子 〇みんなと仲よく生きぬく子

令和7年度 学校だより  
八王子市立小宮小学校  
発行責任者  
校長 山北 雅史  
令和7年9月1日発行  
第6号

## 美しい日本語

校長 山北 雅史

夏休みの閉庁期間を利用して福島県の温泉を家族とともに旅しました。くねくねとした山道を車でしばらく登った先にある濁り湯の温泉地は「秘湯」と呼ばれるのにふさわしく、とても深い森の中にありました。その一番奥にある静かな宿を選び、日頃の喧騒をしばし忘れてのんびりと過ごすことができました。

着いて早速、宿自慢の温泉に入り、運転の疲れも癒され、気分良く夕食時間を迎えた時のことです。さわやかな笑顔で私たちを席に案内してくれた担当の着物姿の女性は、順に料理を運びながらその説明を始めました。「こちらの前菜は左から・・・、・・・、・・・でございます。」聞きながら日本語に少しイントネーションの違いが感じられ、外国の方なのだろうとすぐに推察できました。多様化が進んでいる今は、いろいろなところで日本の産業を支えている外国出身の人たちがいます。こうした温泉地の宿も外国出身の方がいなくては困ると聞きます。食材や調理法を一つ一つ丁寧に説明してくれる間も、笑顔を絶やすことなく、遠くから来た者を精一杯にもてなそうとしてくれる温かい気持ちが伝わりました。それをひとつひとつうなずきながら聞き、感じたことは、何も流暢な日本語だけが良い日本語ではないということです。時に言い間違えながら、言い換えながらも、相手にわかってもらえるよう一生懸命に伝えようとする気持ちには、聞く方にしてもしっかり応えたいと思うものです。おそらく客の前に出る前に何度も何度も練習したはずですが、単なる音としての言葉ではなく、しっかりとその意味まで勉強して理解した話し方でした。「ただ話している言葉」ではなく、「伝えようとする言葉」だからこそ美しい日本語と感じました。これは学校の中でも、常々子どもたちへ指導していることです。「今その話し方で聞いている人に気持ちが伝わったかな。どんなにスムーズに早く話せても、伝わらなかったら残念だよ・・・」と。そしてもちろん私自身も日本語を母国語としている者として、もっと言葉を大事に使わなければとあらためて思いました。

夕食会場から出ていく時も、その人は丁寧に「ありがとうございました」と深々とお辞儀をしてくれました。言葉には温度があります。温かい言葉とともに温かい料理をいただけたことに感謝をした宿の夕食でした。

さて長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。運動会や文化祭もある4か月弱の長丁場です。子どもたち一人一人が持ち味を発揮して輝くよう職員一同がんばってまいります。

